

# むらやま ぎかいだより

発行：村山市議会  
編集：議会だより編集委員会



新年のあいさつ  
12月定例会補正予算、条例改正など  
代表質問 ◎新市政クラブ ◎青風会  
一般質問  
審議結果報告  
議会活動、一部事務組合報告  
市民の声

写真：村山市立富並小学校  
おじいちゃんとうらぬち

<http://www.city.murayama.lg.jp>  
携帯からはコチラ



# より開かれた議会を目指す 村山市議会

議会改革に取り組み、一丸となった議論を



議長  
能登淳一

## 新年のご挨拶

新年開けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、東日本大震災から間もなく二年が経過しようとしています。未だ多くのみなさんが、避難生活を強いられ苦しい、辛い思いをしています。一日も早い復

興と、少しでも心が癒され、早く穏やかな日々が送られますようお願い申し上げます。さて、復旧・復興が最重要課題の中、先般第46回の衆議院議員選挙が行われました。その選挙戦の中で、「足りるを知る」理念が政治には大切だと訴えた候補者がありました。私は驚きと同時に

大変共感しましたが、自由主義的経済体制の中で、この理念をどう政策として融合させて行くのか、難しい課題ではあります。国民の幸福の価値観という意味においても大切なことだと思えます。

確かに「豊かさには一定の節度」があつてしかるべきです。より成熟した民主主義を目指す意味でも、エネルギー政策に代表された議論のように極めて重要だと痛感しました。わが村山市議会においても政策の基本部分として是非議論したいものです。

今年も市民のみなさんの負託に応えるためにも、自治法の改正に伴う議会改革はもちろんであります。村山市議会の伝統である、徹底した調査と議論を中心と今後とも議員各位と一丸となり頑張りたいと思えます。

# 補正予算 1223万円減額

平成24年第5回定例会は11月30日招集され、12月14日まで開催されました。補正予算の主なものは、橇岡笛田の旧保健所跡地に設置予定の障害者支援施設への補助金90万円。要保護世帯等への学童保育料の半額を市・県が4月にさかのぼって助成するために98万円。生活弱者世帯への灯油券を3千円支給する福祉灯油券助成事業334万円など福祉事業費の拡充をはかるものです。一方、国交付金の確定などにより、工事費などの減額があり、総額では1千223万円の減額補正となり、総額を118億5千360万円とするものです。このほか衆議院議員選挙に伴い1千574万円の専決処分を承認しました。

# 子育て医療費無料化拡充へ 小学校6年生まで完全無料化 中学生入院費無料は継続



元気な子供たちのための医療費無料化拡大

子育て支援医療証(一部負担額)	
(小学6年生用) 外資専用	
000-00000000	
福祉医療番号	830600087
医療番号	600000017
氏名	村山 さくら
生年月日	平成13年4月20日
性別	女
住所	村山市中央一丁目3番6号
有効期間	平成26年3月31日まで
平成25年4月1日から適用します。	
村山市長	
交付年月日	平成25年4月1日交付
この医療証は入院には使用できません。 入院される場合は、別途入院時の医療証交付等の申請が必要です。	

## 条例等

○市民センター条例等の一部を改正  
地区公民館と市民センターを一本化し、地域活動を、より活性化するための改正。  
○福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正  
現在、小学4年生までの医療費無料化を平成25

年度から小学6年生まで拡大するための改正(必要財源 推定1千200万円)  
○市長の調査等の対象となる法人の範囲に関する条例(新設)

地方自治法施行令の一部改正に伴い市長が経営状況などを調査できる法人の範囲を拡大するもの  
新たに村山市体育協会が調査の対象となります。  
○市長等の給与の特例に関する条例の一部改正

幹細胞の提供を行う場合を新たに加えるための改正  
○市税条例の一部改正  
今年6月に改正された国民健康保険税に関連して低所得者について認められている、基礎課税額から減額すべき額を引き上げるための改正。  
○故里交流施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

道の駅むらやまに民間からの寄附による電気自動車充電設備を設置することに伴いその使用料などを定めるための改正。  
○指定管理者の指定

体育施設、クアハウス 基点など12の施設について、市の体育協会、余暇開発公社など、指定管理者の期間更新を行うもの。(平成25年度から3年間)  
いずれも全会一致で可決されました。

## 請願

○TPP交渉参加阻止に関する請願書

## 発議

○村山市交通安全条例の一部を改正する条例  
○特別職に属する者の給与等に関する条例の一部改正(議長の報酬減額)  
○特別職に属する者の給与等に関する条例の一部改正(議員の報酬減額)  
○年金2.5%引き下げの中止を求める意見書  
請願・発議の可否はP11の審議結果へ

## 発議についての補足

まんぶく市場については、以前から要望の強かった駅前のにぎわいづくり、空き店舗対

策、雇用創出という目的に沿って国のパツケージ事業を受け入れたもので、やる気のある事業者を公募し、経営コンサルタントや商工会の指導を受け頑張ってきた。しかし、昨年の東日本大震災や大雪の影響などでオープンが大幅に遅れるとともに、経営状況もおもしろくない、10月31日で閉店しました。  
村山市議会はこの間、所管常任委員会、全員協議会、予算特別委員会、各会派による議論を積み重ね対応してきましたが、結果として市民の期待にこたえることが出来なかったために、道義的責任をとり、賛成多数で議長の報酬減額を決めたものであります。

# 代 表 質 問

## 保育園・児童センターの統合、民間委託を



### 新市政クラブ

長南 誠議員

#### ◎都市計画について

**Q** 合併時4万人を超えた人口も年々減少し2万7千人を割った。楯岡を中心とする区画整理、都市計画道路の遅れが発展の阻害要因と考える。住宅地政策は雪国に合う土地の広さを考えるべきである。蚕業試験場桑畑跡地は駅も近く、住宅地に最適地と考えるが、メガソーラー設置場所に決定した。エコタウン構想で若者に夢を持たせることができたのではないかと楯岡高校移転後の跡地利用構想を早目に県に示すべきである。また、村山産業高校通学路、江迎湯沢線を延長し整備を早急

に進めるべきである。魅力あるまちづくり政策について伺う。

**A** 都市計画は第4次総合計画マスタープランに沿って進めている。村山市196km<sup>2</sup>の内4%が宅地であり、有効利用で活性化させるのが都市計画の位置づけである。河島山北町、鶴ヶ町住宅地270区画の内252区画が売れ、市外県外が6割、20歳〜50歳代で90%を占めている。二日町住宅地も23区画の内12区画販売済みで、宅地政策はまちがっていない。楯中駐車場365台確保したが支障あれば今後考えていく。県所有桑畑跡地26haにメガソーラー設置を県が決定。環境都市を進

める市としてこれを機に太陽光発電の拡充を図る。産業高校通学路は鶴ヶ町西線の整備計画を立て、県と連携を進める。楯岡高校跡地は庁舎内に検討会を立ちあげ検討している。36haあり買収すれば9億円位かかる。

#### ◎農業政策について

**Q** 大型農業を目指し経営体基盤整備事業183haが始まったが、中山間地の農業従事者の高齢化耕作放棄地が132haに及んでいる。猿・猪等の被害も大きく離農も出ている。今後の農業政策を伺う。

**A** 従事者の78%が60歳以上で農業生産高も米価の低落等で75億円である。5〜10年後の展望を描けない地域の中で、持続可能な農業を実現するため「人・農地プラン」制度ができた。地域に合った集落営農を進める。

#### ◎工業団地造成について

**Q** 家電産業の低迷、中国への自動車輸出が滞り、景気は下降気味で今後の受注、雇用が心配される中での工業団地造成計画、企業誘致を伺う。

**A** 工業出荷額を上げる減少の歯どめ政策と考える

る。工業団地の拡張企業誘致を進めないと産業振興が進まない。調査を行い金谷工業団地北部地区を計画、実施する。市民に負担のないよう進める。

**Q** 駅前賑わいについて

**A** 「まんぶく市場」は期待され開店した「まんぶく市場」目的未達成で残念。閉店による影響も大きい。28年に楯岡高校が移転、空き地となる。村山市の表玄関村山駅東沢線の道路整備と合せ楯高跡地利用構想が駅前賑わいづくりで重要と考える。市長の見解を伺う。

**A** 「まんぶく市場」はセミナーを開き公募で開店。豪雪・地震に係る支援を議会の理解を得てきた。途中で閉店したこととは、市長として責任を感じ対応は議会に提案した。楯高跡地利用に合せた道路整備は重要であり、庁内で跡地活用と合せ検討会をつくり進める。

#### ◎福祉政策について

**Q** 楯岡2保育園の統合児童センターの整理

統合、民間委託施策は進んでいない。また統合が不透明の中での職員採用はすべきでない。市長の見解は。

**A** しろはと、新町保育園は老朽化のため統合に向け整備計画を進める。他の施設も今後具体的方針を出す必要がある。民間委託は内部検討し進める。職員は適正人事配置で進めている。保育時間、朝夕の要望等多様化し、パートを含めての対応が財政的にも良い。

**Q** 国保医療費は年々増加。削減策を伺う。

**A** 予防接種、食生活改善、ケアハウス基点での健康づくり、各種検診の充実を進め削減に努める。



改良が望まれる村山駅東沢線



金谷工業団地造成予定地

# 次期第5次総合計画策定の考え方について



青風会

佐藤 敏彦 議員

## ◎村山市総合計画について

**Q** 第4次村山市総合計画の進捗状況及び事業評価、残された課題は何か。第5次総合計画の考え方及び計画の進め方は。

**A** 第4次総合計画は、中間年及び平成21年に計画の基本である人口規模を2万7千人、8千200世帯に見直しして実施してきた。進捗状況は基本計画201事業の内完全な実施完了は20事業、未着手はなし、残りは進行中だ。主な事業は、飢饉対策の完成、東北自動車道の整備、保健事業、公共施設のグリーン電力の導入などである。残された課題は、駅西国道13号西側の開発、少子化に対応した福祉政策など。平成26年度からの10年



姿を現した東北中央高速道路  
(市内河島地区工事現場)

間を見据えた第5次総合計画の策定については、来年1月庁内に検討会、4月には計画策定審議会を設け、9月に基本構想、12月に基本計画を策定し、平成26年3月に計画書を完成させたいと考えている。計画策定に当たっての重要な視点は、人口減少にどう歯止めをかけるか、夢のある計画を事業にどう

う取り入れられるのかを考えている。

財政計画の見直しについては、今後も厳しい状況は続くと思われるが、市の財政負担を圧迫している公債費負担を軽減して、少しでも事務事業に向けられる財源を確保し健全財政に努めて行く。大きな事業については、基金積立、過疎対策事業債の活用をしながら財政運営を行って行く考えだ。国、県の事業についても、整合性を図りながら積極的に取り入れていく。

## ◎環境都市「村山市」の推進について

**Q** 再生可能エネルギー導入及びCO<sub>2</sub>削減に向け、クアハウス基点施設の温泉源、廃湯熱を利活用できないか。環境に優しい、「エコタウン」を整備してはどうか。

**A** 環境基本条例を制定し、環境懇談会などを開催しながら進めている。現在もクアハウス基点は、温泉熱の一部を利用している。今後は新しい浴場の床暖房及び屋根の雪処理、更にはスパプールまでの通路の消雪に新たに活用する。国の事業については、有利なものがあるかどうか検討して取り組みたい。

エコタウン構想については、市の住宅政策だけでなく、民間の力も導入しながら検討していく。

## ◎村山市の人材育成について

**Q** 児童・生徒の減少に伴う教育環境の整備について、施設の整理統合の方向は。市職員の資質向上に向けた独自の研修の取り組みは出来ないか。

**A** 市民の児童数は本年度、1千305人だが、5年後には1千81人と22人減少する見通しだ。この人数は、西郷小、富並小2校分に相当する。今後も統合は避けて通れない。適正配置に関する第



メガソーラー建設予定地

2期計画の中で方向を示して行きたい。

市民センター化に伴い、臨時職員から地域づくり推進員を配置して更に活性化する計画だ。待遇も改善したいと考えている。市職員の独自の研修は、今後検討していきたい。

## ◎産業の振興について

**Q** 農業生産の意欲拡充に向け、農業粗生産高の数値目標を設定し、農業全体に元気を出してもらおう方策はないか。また、滞在型の「体験農業」の取り組み導入の考えは。市内商店街と消費者を結



西郷地区経営体育成事業

びつける活性化の方策は。農業粗生産高の目標設定については、JAとも協議して検討したい。都市と山村との交流については更に進める。商店街の活性化について、「とくとく徳内券」の増額の要望があるので、商工会とも相談して検討する。高齢者などの買い物に困っている方については、地域巡回型販売事業や福祉協議会、いきいきサロンとも連携を図りながら進める。

# ここが聞きたい！ 一般質問

## Q&A

本定例会の一般質問は  
12月5日・6日に6人の議員が行いました。  
質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

※一般質問のQ & Aは議員の原稿をそのまま掲載しています。



### 楯岡高校跡地活用構想 街なかの新たな拠点づくり

井澤秋雄議員

**Q** 楯高北側の都市計画道路整備と合わせて街なかの新たな拠点づくりを目指すべきでないか  
また、街なか構想有識者懇談会の立ち上げを提案したい。

**A** 楯高は、平成28年3月で閉校になる。

県教育委員会、県と連携をとりながら進める必要があるので、跡地利用検討会を立ち上げた。

優良住宅地の中心であるので子どもさんたちの元気な声が聞こえるような街づくりの中心になるよう進めたい。

都市計画道路も合わせて整備する必要もあり、市民の皆さんの率直なご意見を聞きながら区画整理も想定した街づくりを進めたい。提案のあった有識者懇談会設置についても参考にしたい。  
第5次総合計画の中心となる事業となろう。



楯高校舎と北側周辺

**Q** 関係機関と地域の代表の皆さんによる点検により危険箇所と判断された通学路の主な対策方針を聞きたい。

**A** 安全点検の結果、対策が必要な場所が40箇所あり、そのうち転落

防止柵の設置、修理、外側線の塗装などにより33箇所が解決している。未解決の7箇所については今後、より安全な通学路を目指して関係機関と協議していきたい。



## 村山市の職員体制を問う

布川 淳一 議員

**Q** 市は集中改革プランで職員体制を見直しで来たが、村山市の職務に従事する正職員と臨時や嘱託で働く方々の現状と、見直しの成果は。

**A** 現在は、正職員が312人(68%)、臨時は126人(27%)、嘱託23人(5%)となっている。5年前と比較して、正職員は25人の減。臨時は31人の増となっている。人件費は3千万円の減である。

**Q** 一部の職種を除き臨時雇用は任期が5年を限度となっている。専門的技術や知識を持つ有能な臨時職員の使い捨てにならないように、業務委託や指定管理、人材派遣などを積極的に活用すべきだ。

**A** 現業部門のうち保育園などの民間委託については、将来の検討課題だ。東沢公園管理業務は、バラ栽培専門家を雇

用しない。図書館については、業務委託した際にサービスの低下が懸念されるので今後も市直営とする。

**Q** 業務の外部委託を増やし、正職員の削減を推し進めて欲しい。そ

うすることによりワークシェアリングが推進される者の定着にも繋がる。また臨時職員を一括管理する外部組織(官製NPOや人材センターなど)の受け皿を村山市で早急に立ち上げるべきだ。



楯岡小学校の給食調理の様子



## メガソーラー予定地にはエコタウンを

長谷川 元 議員

**Q** 防災無線の改修が進められるが、補完的なものとしてコミュニティFMの立ち上げを検討してはどうか。近隣市町との連携も模索してはどうか。

**A** 市内で検討した結果近隣にはないようだが、民間で立ち上げてもらえば進められるだろうが、市単独では難しい。

**Q** 防災無線の設置場所は楯岡では楯山山頂と諏訪山山頂の2ヶ所で十分では。コストと反響の点からも新型スピーカー等で解消できると思うがどうか。

**A** 参考にさせていたいただき十分検討したい。

**Q** 県ほ場跡地へのメガソーラー設置に関して市から要望を行った経緯はあるか。事業に対しての市の考え方は。

**A** 県への要望はしていない。環境都市的な

で賛成して協力していきたい。

**Q** メガソーラーは結構だが何故市街地に設置するものに意見を言わないのか。都市計画区域内にあり徳内シーポルトラインを切った区域に開発を疎外するような施設

が本当に必要なのか。県有地だから県の言う通りでは都市計画はできないのではないか。エコタウンなど一歩進んだ形での事業提案など県に働きかけるべきと考えるが。

**A** 実証実験ということ協力をしたい。



遠くまで聞こえる新型ホーンアレイスピーカー



## 「社会保障制度解体法」から 市民の福祉を守る行政を

中里芳之議員

**Q** 民・自・公の三党談合で強行可決された「社会保障と税の一体改革」関連法の一つ、「社会保障制度改革推進法」は、社会保障制度を、名前の似て非なるものに変えてしまう「社会保障制度解体法」だ。財源の消費税は、社会保障のためではなく、大型公共事業の財源づくりや、大企業の負担軽減と儲け口の拡大のためだ。推進法が実行されたら市民の福祉をどう守るのか。

**A** 法に基づいて設置された社会保障制度改革国民会議での検討を守るほかない。

**Q** 「一体改革」関連法の一つ、「子ども、子育て関連法」は、保育の公的責任を限定・縮小するものだ。保育時間は親の就労時間によって決められ、1日4時間というケースも生まれる。また、



「子ども・子育て新システムNO!」の首都圏デモ

施設運営の不安定化で保育労働者の労働条件悪化や保育の質の低下が懸念される。村山市の公的保育は後退させないと断言できるか。

**A** 法律を前提に、後退させないよう努力する。  
**Q** 一体改革関連法が実行されても、憲法の

精神に則した対応を望むが、負担軽減のための各種減免制度や制度対象範囲の拡大がいつそう求められる。同時保育第2子または同時保育でなくとも第3子の保育料無料化を。

**A** 今後の問題として検討させていただく。



## 年金2.5%削減から市民を守れ

川田律子議員

**Q** 衆院解散直前にかけこみ可決された国民年金等改正案により、公的年金が13年10月から3年間で2.5%引き下げが決定。その後も毎年「マクロ経済スライド」により0.9%ずつ削減することが出来るようになるもの。14年から消費税が8%になると高齢者にはダブルパンチで地域経済をどん底につき落とす愚策と言わざるを得ないが2.5%削減の試算と高齢者や地域経済に及ぼす影響は。

**A** 国民年金・厚生年金で年間約98億・2.5%削減で約1億9千万円。農業収益が75億といわれるなかで年金が市の財政を担っていることは承知している。国の制度が変わる中で市民の生活を守るため、制度を活用しながらやっていく。

**Q** 県の雪対策総合交付金事業を積極的に活



サクランボ園地に続く農道

用し、高齢者世帯等の雪おろし対策や農道の除雪、生活道路の排雪に力を入れた対策をと考える。

**A** 雪おろし対策は、高齢化の進む五十沢地区で除雪費支給を新たな基準で対応したい。またシルバー人材センターで安全に配慮した雪

おろし業務の準備を検討している。農道の除雪については、共同作業や受益者負担も伴うので地元で協議しながら研究したい。

生活道路の早朝除雪を基本にして、排雪についても随時必要な場合は対応していく。





## 「人・農地プラン」 将来の方針

大山正弘 議員

**Q** 観光名所や人が移動しやすいことは。

**A** 村山市らしい案内板を統一デザインしなければと考え、道路管理者などと調整や財政面の課題はあるが、将来的に検討していく必要がある。

**Q** 湯沢方面から東沢公園入口までの市道拡幅し安全安心な観光道にするべきと考えるが。

**A** 楯山の素晴らしさ、自然は、車の出入りが良いのではないのでは。今後、楯山愛好会と相談し、自然は大切に考え、湯沢から公園入口までの市道は幅員が狭いが拡幅整備は莫大な事業費が予想され、費用対効果も上がらないことから安全施設の点検設置を検討する。

**Q** 人・農地プラン、市内担い手農業へ進め方とTPPに対する市長の考え方を聞きする。

**A** 市民農業従事者は70歳以上が53%、平均67歳と高齢化傾向にあり、この政策は「中心となる農家」「協力する農家」を明確にし「中心となる農家」に農地集積等を地域で話し合い、実施する。

TPPは現在の農業の現状を見た場合、市長として反対する。

**Q** 人・農地プランの具体的な取り組み方は。

**A** 離農や大規模農家育成ではなく、小規模農家や新規就農者も活躍できるように地域全体で取り組み、5年10年先の体制づくりとする。



動き出した「人・農地プラン」

## 第2回 議会報告会開催 (10/24・10/25)

### 市民からの意見・要望とその対応

・村山市の放射能の値が高いのはグリーンパワーの影響はあるのか。

・県の放射能測定値は村山市が高い。測定方法が違うのでは。

・旧雇用促進住宅の市外からの入居者数は。

・公共下水道未設置地域の排水は土地改良区の堰に流している。非農家から応分の負担は。

・小学校の統合についてきちんとした将来像を。

・救急体制と搬送先の整備・対応は。

・ドクターヘリポートの離発着の場所は。

・除雪費の削減が心配だ。

・日中の除排雪の連絡網に時間がかかりすぎ検討を。

・公民館前の貯水槽周りが地盤沈下しているので改善を求む。

・長距離を移動して産廃を持って来るのは温暖化に逆行。県の産廃税の使用には不満。カラス等の被害も大きい、市も努力を求む。

・除雪車の出勤が早すぎて出勤時間には積雪がある。除雪予算の増額と出勤回数増を求む。

・県道の消雪道路は大雪時に道路幅が狭くなるので拡幅の要望を求む。

・地元商店での買い物客が少なくなった。今後の市の対応策は。

・サルの被害に困っている。農業従事者の生産意欲が無くなっている。

・動物愛護団体と話し合いが必要。発信機を付けたサルが居ないので、調査を求む。

・この15件につきましてでは執行部に対し報告いたしました。」

・この3件につきましてでは議会に周知いたしました。」

・議会報告会への参加人数が少なく、報告会の持ち方に問題がないのか。周知方法に工夫が必要。



土海在家自治公民館

# 就労困難障がい者に 働く場ができる!!

— 旧村山保健所を再利用 —

- 村山市障がい者福祉プランに基づき、県の協力のもと村山総合支庁旧村山保健所を再利用し、障がい福祉サービス施設を設置し、利用者の福祉向上を図るものです。
- 平成25年4月1日から稼働します。主な事業内容は次の通りになります。
- 1、多機能型事業所
    - (1) 就労継続支援B型 (定員30名)
    - 一般企業では就労困難な障がい者に対し、働く場の提供、知識能力向上のため訓練を行う。
    - (2) 生活介護 (定員10名)
      - 日常生活上介護を必要とする方に食事排せつの介護を行う。
    - 2、放課後等 (児童) デイサービス (定員10名高等部)
      - 日常生活基本動作習得、集団生活適応できる指導訓練を行う。
    - 3、相談支援事業
      - (1) 障がい児相談支援事業
  - (2) 計画相談支援事業
    - 一般相談支援事業所 25年以降実施予定。



## 飲酒運転しない!させない!

### — 村山市議会の二つの取り組み —

- ① 昨年、当市も含め県内各地で公務員の飲酒運転が相次ぎ綱紀粛正が叫ばれています。村山市議会に於いても「村山市交通安全条例の一部を改正する条例」を議員発議で上程し、可決しました。
- 改正された主な点は、
- 市民は交通三悪の追放に努める。
- 酒類提供事業者等は、飲酒運転防止に努める。
- 公職にある者は、自らの行為を厳しく律し、市民の範を示すべき立場を深く自覚し交通三悪の追
- 山三市一町の議員研修を昨秋開催しました。(写真上)
- 「山形県飲酒運転はしない、させない、許さない条例」を基本に講義を
- 放に率先して取り組む。以上の部分が付け加えられました。
- ② 村山警察署の今野交通課長を講師に招き、北村
- 受けました。最近は二日酔いで酒気帯び運転が問題になっていきます。皆様もご注意下さい。

## 共立衛生 処理組合

11月27日共立衛生処理組合議会が東根市議場で開催、24年度補正予算、市町負担金の確定など3議案を可決した。補正予算は事業費確定に伴い、1千953万4千円を減額、19億883万8千円とした。市町負担金はリサイクルセンター工事費等の償還開始により、7億4千29万1千円となり、村山市負担金が、1億2千32万7千円となった。し尿処理では、脱水処理後に汚水を下水道投入方式に変え、人件費、電気代などの削減効果があった。

## 北村山公立 病院組合

平成24年12月25日東根市議会議場で、第3回定例会が開催された。

提案された議案は、職員勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正

## 北村山広域 行政事務組合

12月25日臨時議会が開会され、補正予算など4件が提案され、いずれも全会一致で可決された。

補正予算は、歳入について社会資本整備交付金など110万円を追加、歳出においては視聴覚センター工事請負費110万円を追加し、歳入歳出とも総額1億2千188万5千円とした。また、新年度から事務局長を常勤の特別職とするための関係条例の改正をし、前任者の辞任に伴い伊藤大藏氏(村山市)を教育委員に任命することに同意した。

また、監査委員に、佐藤和男氏(村山市)が新たに選任された。

する条例の制定、事業収益を214万7千円増額し総額51億7千815万6千円に、事業費用を8千675万1千円減額し総額53億6千575万5千円とする補正予算で、原案のとおり可決された。

# 通年議会を研修

## 議会運営委員会行政視察

去る11月12日～13日、神奈川県葉山町と長野県軽井沢町議会を訪問し視察研修を行いました。

葉山町議会は、議員定数14人の内、女性議員が7名の構成で、議会基本条例は、平成21年7月から施行。議会報告会は、具体的なテーマを設けて町民の意見を伺う会として開催しています。積極的な情報公開を目指し、議場のインターネット中継を実施しています。

軽井沢町議会は、全国にも先駆けて、平成22年から通年議会を開催しています。通年議会とは、一年中議会を開催するもので、通常の定例会は会議再開として開会します。通年議会後は、議決の必要な専決処分がなくなります。

議会報告会は、平成20年から実施。始めは参加者が少なかったが、報告会の名称を「議会とまちづくりを語る会」に改め、その後参加者は増加しています。

当市議会運営に活かしていきたいと思います。



## 行政視察 青風会

11月5日～7日岐阜県恵那市の笠岡・木の駅プロジェクトを視察しました。地元の間伐材を利用した地域の経済活性化と森林整備。郡上市では市民と共同の山づくり構想を研修しました。また国立スポーツ科学センターでは、トップアスリート育成のための施設設備を見学してきました。



## 行政視察 新市政クラブ

10月17日静岡県伊東市で「健康保養地づくり事業」を研修しました。「健康回復都市」を宣言し、豊富な湯量と、豊かな自

然を活かした健康保養地づくりを市の施策の柱とし、関係団体による実行

委員会を中心に事業を推進しています。これまで温泉入浴指導員資格取得 健脳健身教室、健康回復協力店（民間）での安心メニューの開発等を行っています。10月18日は神奈川県小田原市で防災無線の研修を行いました。

- 自主防災組織と訓練
- 防災資機材の整備
- 情報の収集と伝達手段
- 給水対策

## 管内視察

### 文教厚生常任委員会

就労継続支援B型事業 大げやきの家、ひがしね 保育園等を視察しました。

### 産業建設常任委員会

市内企業で発展目覚ましい、朝日鷹・十四代蔵元の高木酒造株、ちび助 サラミ製造の榎橋岡ハムを視察しました。

## 開かれた議会を目指して

12月定例会において賛否の分れた議案についてのみ記載しました。

議員名	議決結果	新市政クラブ										青風会		日本共産党 山形市議会		無党派		賛成	反対		
		井澤 秋雄	長谷川 元	長南 誠	鈴木 健治	大山 正弘	秋葉 新一	柴田 好美	茨木 久彌	海老名 幸司	佐藤 敏彦	布川 淳一	佐藤 昌昭	川田 律子	中里 芳之	森 一弘	須藤 和幸			能登 淳一	
議案等の名称																					
議員提出議案 議案13号	村山市特別職に属する者の給与等に関する条例の一部改正について（議長の報酬減額一ヶ月）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議	14	2
議員提出議案 議案14号	村山市特別職に属する者の給与等に関する条例の一部改正について（議員全員の報酬減額一ヶ月）	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	議	2	14	
議員提出議案 議案17号	年金2.5%引き下げの中止を求める意見書	否	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	議	6	10		
請願 請願10号	TPP交渉参加阻止に関する請願	可	退	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議	13	1		

※議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。

○=可決 □=否決 ○=賛成 ×=反対 欠=欠席 退=退席 議=議長

# 市民の声



加藤 浩一さん(駅西)

こ村山市とのご縁は勤務先である山形県教職員組合の北村山地区支部が村山市楯岡にあったことから始まりました。最初は山形市のアパートに住んでいましたが、楯岡に自宅を新築して住み始めて早7年目となりました。住み始めて村山市の良さがよくわかりました。あげればたくさんありますが、まず奥羽本線が通っている、しかも新幹線が停まる。山形市に電車

で行くのに座って行ける(タイミングにもよりますが)。図書館が新しい(自宅から歩いていける)。車で15分以内で山菜の採れる場所まで行ける。後は、富並川で鮎漁(私は刺し網)でできることです。富並川にも15分以内で行くことができます。通勤にも便利、アウトドアも堪能できるなんて、私にとっては申し分のないところです。そうそう、徳内祭りは最高に活気があってスゴイ!あの人出と特に出店の数は県内一じゃないかと思っちゃいます。ばら公園はきれいに整備されておしゃれです。食べ物もおいしい。そばは言うに及ばず「村山べこ祭り」で食べたお肉のおいしいこと!これ

からも村山生活を堪能していきたいと思っています。



山の幸



川の幸

## ぎがいうオツペン

### 〈指定管理者制度〉

公の施設(市民福祉の推進を図るため施設をいう。)について、民間事業者を活用することにより、市民サービスの向上を図っていくため、これらの施設の管理を指定管理者(市が指定した民間事業者等)に委託する制度を言います。管理が適切に行われているかどうかを定期的に見直すため、期間を定めて指定します。

指定管理者の指定は、議会の議決を経て定められます。今回の議会では、(クアハウス基点、体育施設など12の施設)について、3年の期間で更新されました。



- |     |    |    |    |    |      |     |
|-----|----|----|----|----|------|-----|
| 委員  | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 長谷川 | 布川 | 長南 | 川田 | 秋葉 | 井澤   | 須藤  |
| 元   | 淳一 | 誠  | 律子 | 新一 | 秋雄   | 和幸  |
- 議会だより編集委員会

### 議会の傍聴と案内

3月議会では、当初予算が審議されます。市民の皆さんの傍聴をお待ち申し上げます。

◎議会事務局に議会日程を確認の上、お気軽にお問い合わせください。

### 楯岡小学校6年生が議会を傍聴

12月5日、楯岡小学校6年生の皆さんが、学級毎に3回に分かれて社会科学習の一環として議会の傍聴に訪れました。